

# 品川区世論調査 あ ら ま し

この小冊子は、2010(平成22)年に実施した「第19回世論調査」の要約版です。今回は、経年変化をみる定住性や重点施策などの項目に加え、環境保全、地域の支えあい、地域防災などの項目についてもたずね、今後の区政運営にあたり貴重な資料として活用してまいりたいと考えております。

ご協力いただきました区民のみなさまには心より御礼を申し上げますと、調査結果の概要をお知らせいたします。

## 調査の内容

- 1 定住性について
- 2 生活環境について
- 3 環境を守るために日常心がけていることについて
- 4 介護保険について
- 5 地域の支えあいについて
- 6 地域防災について
- 7 読書と図書館利用について
- 8 広報と情報化について
- 9 区役所のイメージについて
- 10 重点施策について

## 調査概要

- 調査対象：品川区在住の満20歳以上の男女個人  
(平成22年6月1日現在)
- 抽出方法：層化2段無作為抽出法
- 対象者数：1,500人
- 調査方法：調査員による個別面接聴取法
- 回収数：1,125人
- 回収率：75.0%
- 調査期間：平成22年7月10日～7月26日
- 調査機関：株式会社 エスピー研

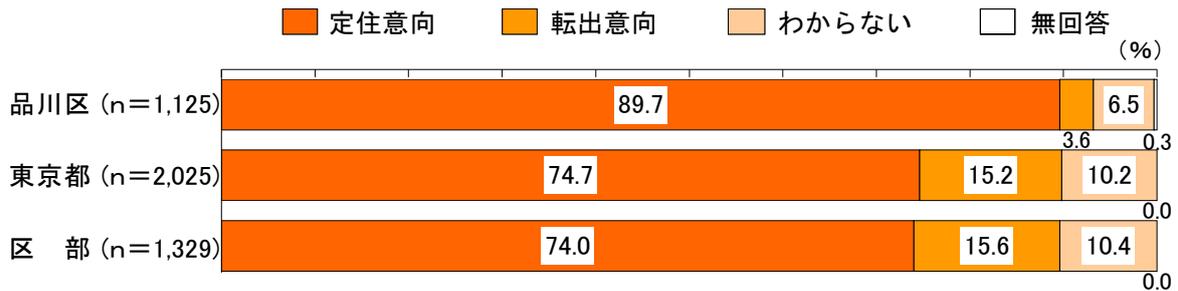
この要約版は、世論調査の結果を抜粋し、わかりやすくまとめたものです。詳しい調査結果は、第19回世論調査として区公式ホームページと、区政資料コーナー（第三庁舎3階）または、図書館で閲覧することができます。

# 1 定住性について

## ■ 定住意向 区民の定住意向は高い

定住意向をたずねたところ、これからも引き続き品川区に「ずっと住みたい」(49.3%)と「当分は住みたい」(40.4%)を合わせると89.7%で、定住意向は過去最高となっています。

また、東京都、区部との比較でみると、東京都より15.0ポイント、区部より15.7ポイント高くなっています。



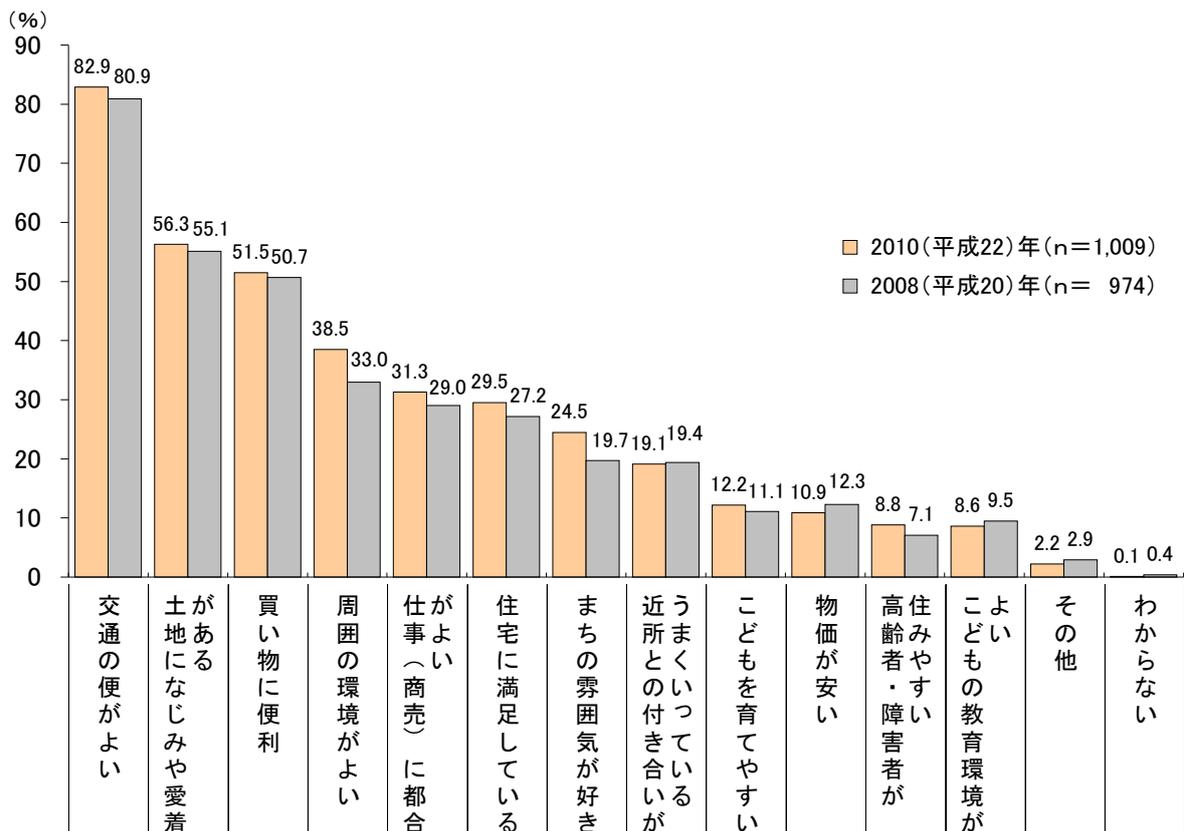
※注意点

東京都と区部は地域定住意向の調査結果

資料出所：東京都生活文化スポーツ局「都民生活に関する世論調査」(平成21年)

## ■ 定住意向理由 交通や買い物の便がよいという理由が上位

品川区に「ずっと住みたい」「当分は住みたい」と思う理由は、「交通の便がよい」が82.9%と最も多く、次いで「土地になじみや愛着がある」(56.3%)、「買い物に便利」(51.5%)などの順となっており、交通や買い物の便のよさが大きな理由となっています。

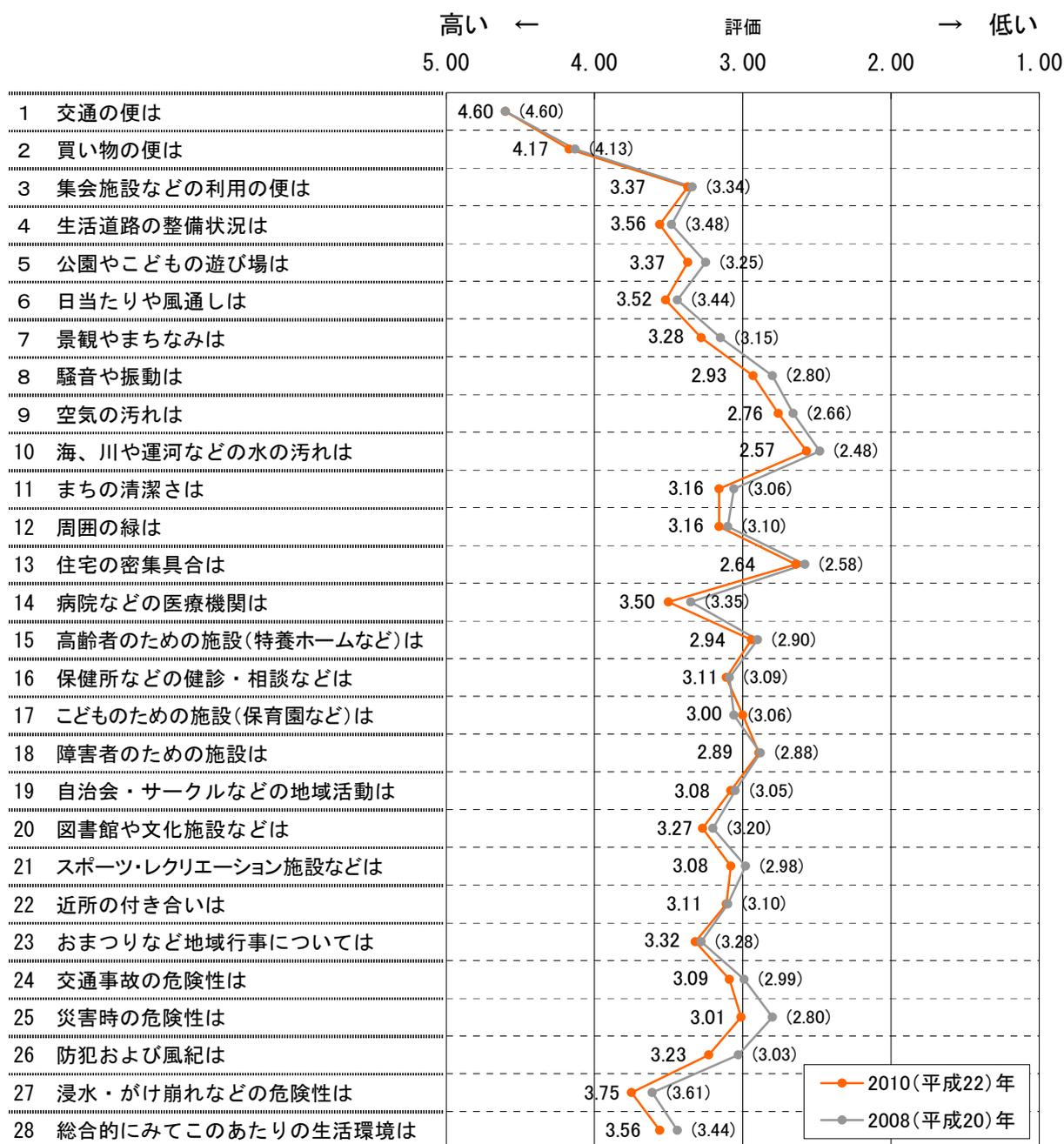


## 2 生活環境について

### ■ 生活環境についての評価

交通や買い物の便での評価が高く、環境面での評価が低い

生活環境を評価点でみると、「交通の便」や「買い物の便」での評価が高く、「海、川や運河などの水の汚れ」「住宅の密集具合」といった環境面での評価が低くなっています。



評価点 = (「良い」の回答者数 × 5点 + 「やや良い」の回答者数 × 4点 + 「普通」の回答者数 × 3点 + 「やや悪い」の回答者数 × 2点 + 「悪い」の回答者数 × 1点) ÷ 回答者数

図中、かっこのない値は2010(平成22)年の評価点を、かっこ付きの値は2008(平成20)年の評価点を示します。

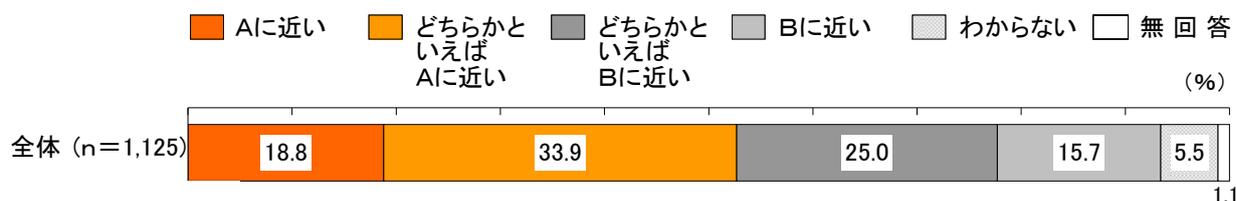
### 3 環境を守るために日常心がけていることについて

#### ■ 環境保全と経済発展の関係についての考え方

「地球環境に負荷（負担）の少ない生活スタイル」を選ぶ人が半数

環境保全と経済発展の関係についての考えをたずねたところ、「『経済コストがかかっても、地球環境に負荷（負担）の少ない生活スタイルを選ぶ』を最優先にすべきだ」（18.8%）と「『経済コストがかかっても、地球環境に負荷（負担）の少ない生活スタイルを選ぶ』に近い」（33.9%）を合わせると52.7%で、地球環境に負荷（負担）の少ない生活スタイルを選ぶ考えが5割を超えています。

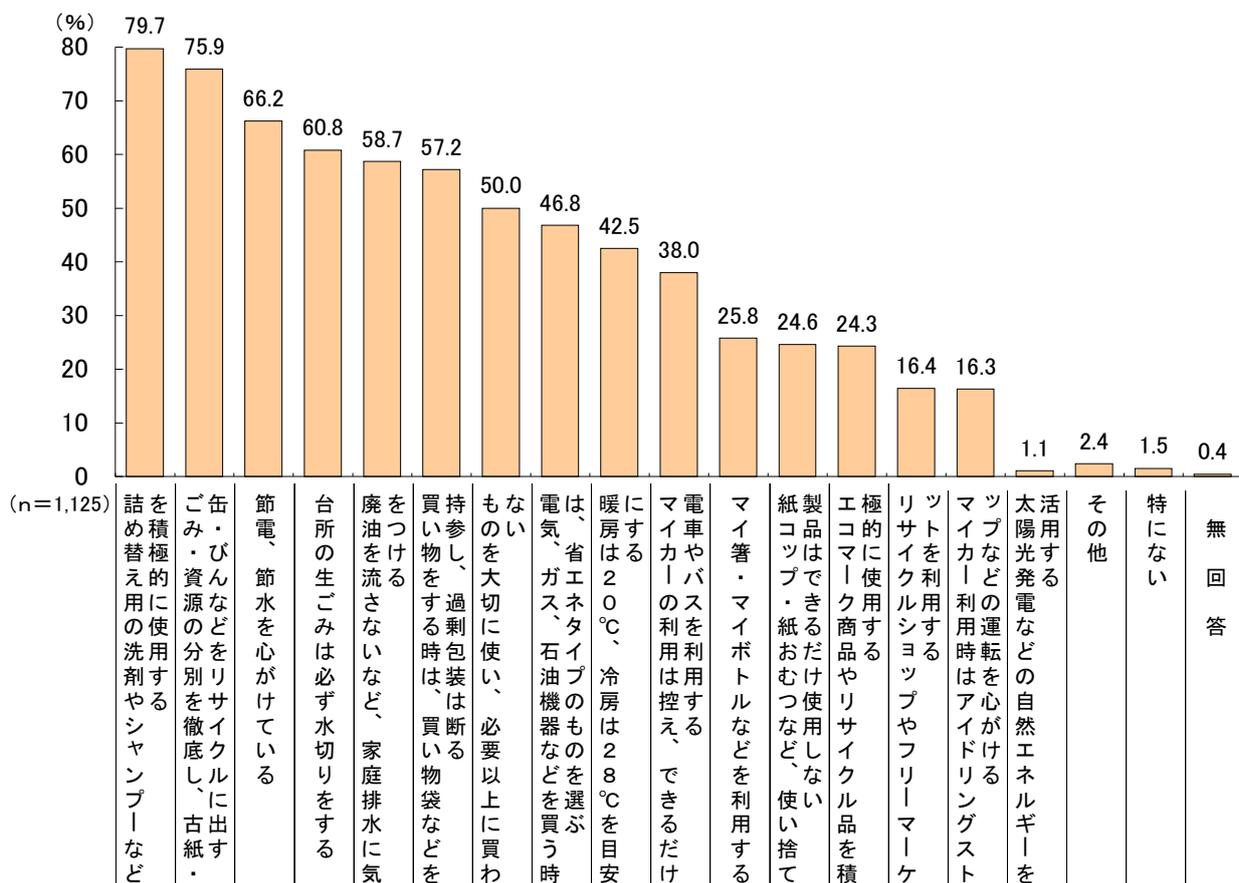
- A 経済コストがかかっても、地球環境に負荷（負担）の少ない生活スタイルを選ぶ
- B 地球環境の大切さはわかるが、便利さ・安さを優先



#### ■ 環境保全のために日頃から心がけていること

「詰め替え用洗剤等の使用」、「リサイクル」、「節電、節水」などが多い

家庭で環境保全のために日頃から心がけていることは、「詰め替え用の洗剤やシャンプーなどを積極的に使用する」が79.7%で最も多く、次いで「ごみ・資源の分別を徹底し、古紙・缶・びんなどをリサイクルに出す」（75.9%）、「節電、節水を心がけている」（66.2%）などの順となっています。

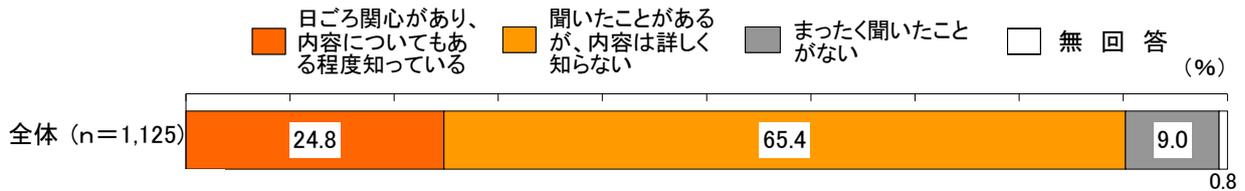


## 4 介護保険について

### ■ 介護保険制度の認知度

「聞いたことがあるが、内容は詳しく知らない」が6割半ば

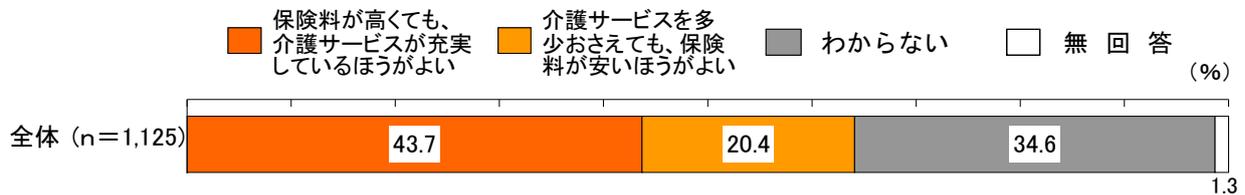
介護保険制度の認知度についてたずねたところ、「聞いたことがあるが、内容は詳しく知らない」が65.4%となり、「日ごろ関心があり、内容についてもある程度知っている」は24.8%となっています。



### ■ サービスの水準と保険料の関係についての考え方

「保険料が高くても、介護サービスが充実しているほうがよい」が4割以上、「介護サービスを多少おさえても、保険料が安いほうがよい」が2割

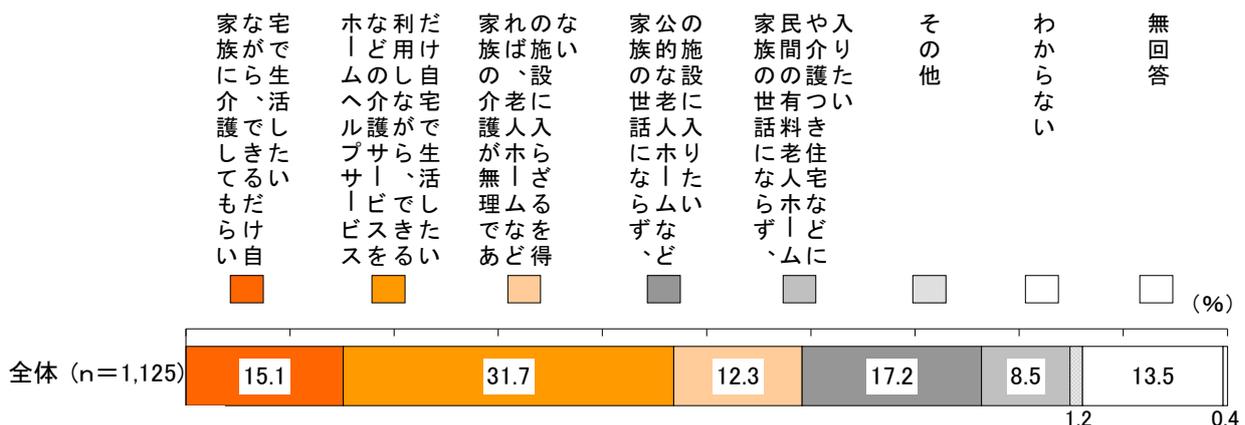
サービスの水準と保険料の関係についての考え方についてたずねたところ、「保険料が高くても、介護サービスが充実しているほうがよい」が43.7%、「介護サービスを多少おさえても、保険料が安いほうがよい」が20.4%となっています。



### ■ 老後に希望する介護の形態

6割の人が自宅での生活を望んでいる

老後に希望する介護の形態についてたずねたところ、「ホームヘルプサービスなどの介護サービスを利用しながら、できるだけ自宅で生活したい」(31.7%)、「家族に介護してもらいながら、できるだけ自宅で生活したい」(15.1%)「家族の介護が無理であれば、老人ホームなどの施設に入らざるを得ない」(12.3%)を合わせると、できれば自宅で生活したいと思っている人が59.1%を占めています。

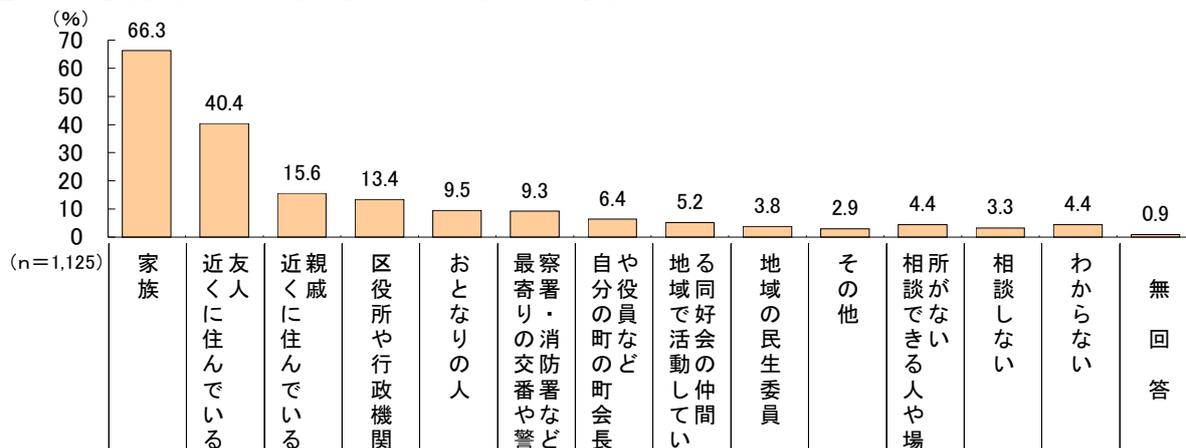


## 5 地域の支えあいについて

### ■ 生活する上での困りごとの相談先

「家族」が6割半ば

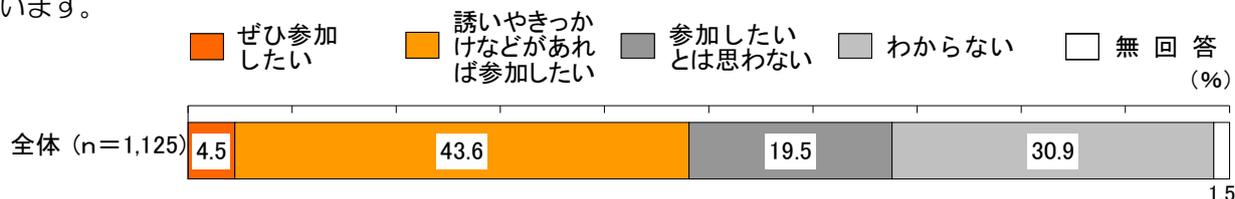
生活する上での困りごとの相談先をたずねたところ、「家族」が66.3%と最も高く、次いで「近くに住んでいる友人」(40.4%)などの順となっています。



### ■ ボランティア活動や助け合いへの参加意向

『参加したい』が5割近く

ボランティア活動や助け合いへの参加意向をたずねたところ、「誘いやきっかけなどがあれば参加したい」が43.6%で最も高く、「ぜひ参加したい」(4.5%)と合わせた『参加したい』は48.1%となっています。



### ■ 外国人と地域でともに生活する上でできること

「日常的に、あいさつをする」が7割近く

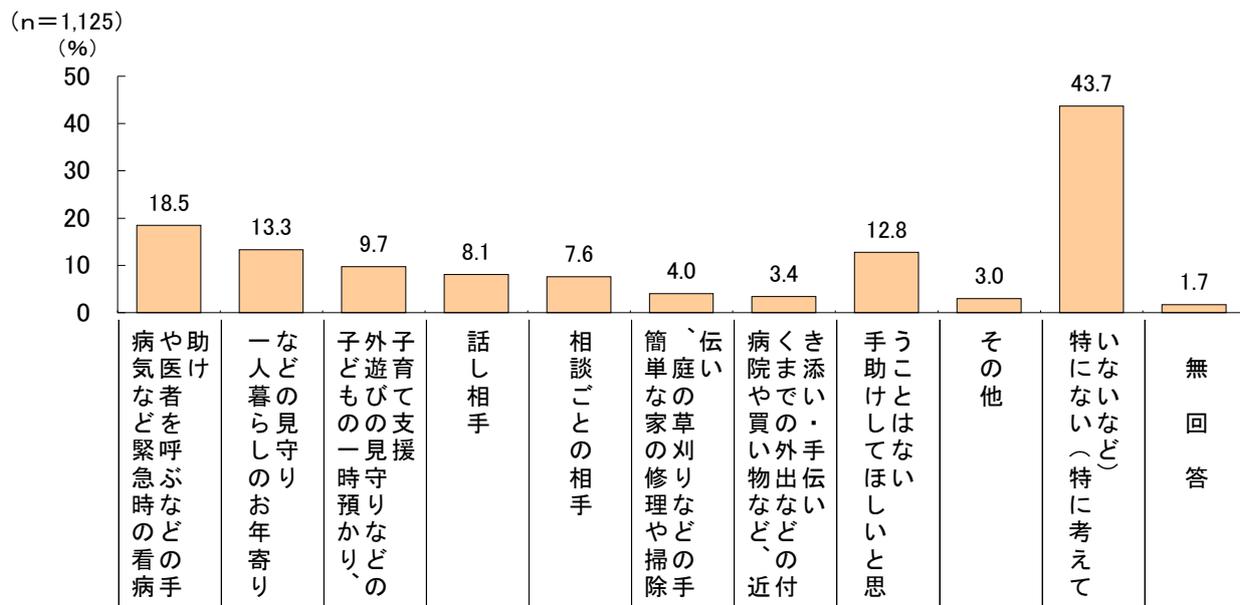
外国人と地域でともに生活する上でできることをたずねたところ、「日常的に、あいさつをする」(68.6%)が7割近くと最も高く、次いで「ごみの出し方など、地域で共に暮らすためのルールを伝える」(30.1%)、「困ったことなどの相談にのる」(22.2%)などの順となっています。



## ■ 近隣とのお付き合いのなかで「してほしい」と思うこと

「病気など緊急時の看病や医者を呼ぶなどの手助け」が2割近く

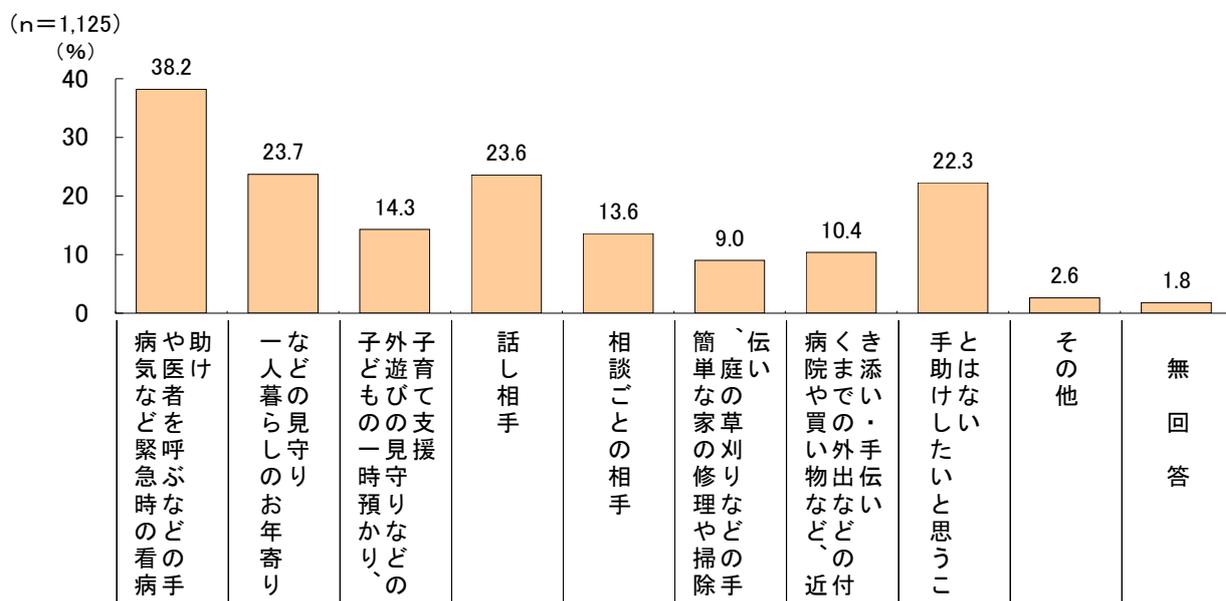
近隣とのお付き合いのなかで「してほしい」と思うことをたずねたところ、「病気など緊急時の看病や医者を呼ぶなどの手助け」（18.5%）が2割近くとなっており、次いで「一人暮らしのお年寄りなどの見守り」（13.3%）などが続いています。



## ■ 近隣とのお付き合いのなかで「手助けしたい」と思うこと

「病気など緊急時の看病や医者を呼ぶなどの手助け」が4割近く

近隣とのお付き合いのなかで「手助けしたい」と思うことをたずねたところ、「病気など緊急時の看病や医者を呼ぶなどの手助け」が38.2%と最も高く、次いで「一人暮らしのお年寄りなどの見守り」（23.7%）、「話し相手」（23.6%）などの順となっています。

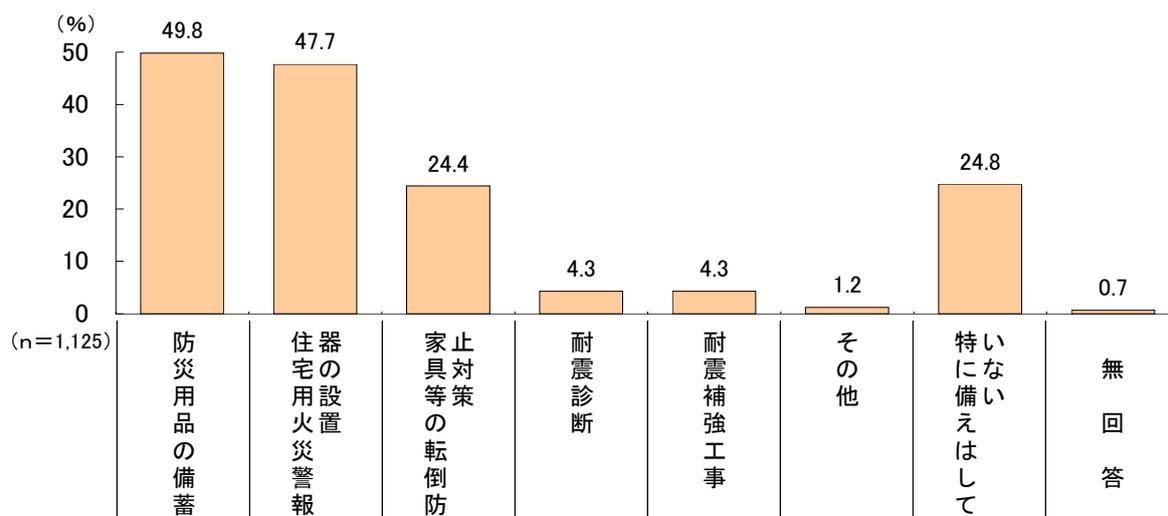


## 6 地域防災について

### ■ 家庭における災害に対する備えの状況

「防災用品の備蓄」「住宅用火災警報器の設置」が高い

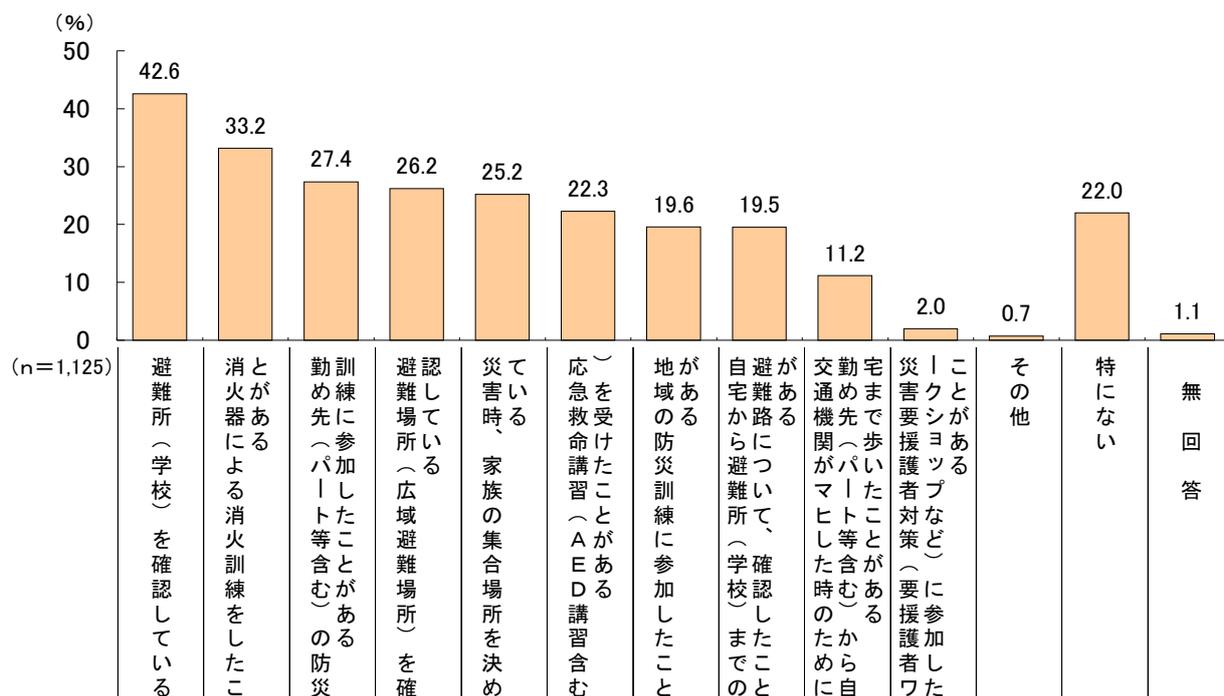
家庭における災害に対する備えの状況をたずねたところ、「防災用品の備蓄」が49.8%、「住宅用火災警報器の設置」が47.7%と、これら2項目が高くなっています。「家具等の転倒防止対策」は24.4%で、「特に備えはしていない」は24.8%となっています。



### ■ 防災のために日頃から心がけていること

「避難所（学校）を確認している」が4割を超える

防災のために日頃から心がけていることをたずねたところ、「避難所(学校)を確認している」が42.6%最も高く、次いで「消火器による消火訓練をしたことがある」(33.2%)、「勤め先(パート等含む)の防災訓練に参加したことがある」(27.4%)などの順となっています。

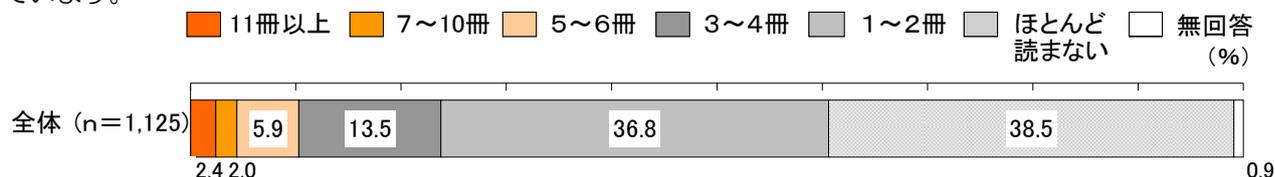


## 7 読書と図書館利用について

### ■ ふだんの読書量 (1か月平均)

「ほとんど読まない」「1～2冊」が4割近く

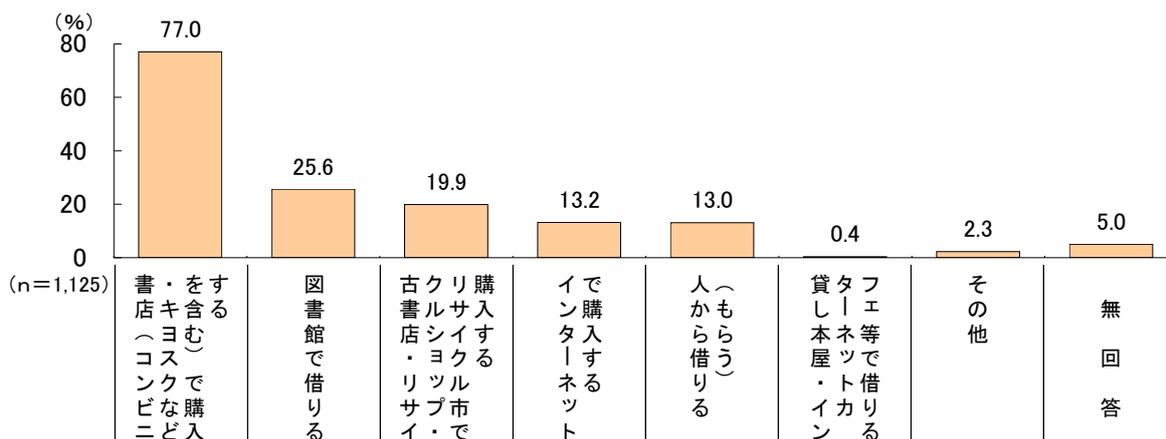
ふだんの読書量をたずねたところ、「ほとんど読まない」が38.5%、「1～2冊」が36.8%となっています。



### ■ 書籍の入手方法

「書店（コンビニ・キヨスクなどを含む）で購入する」が8割近く

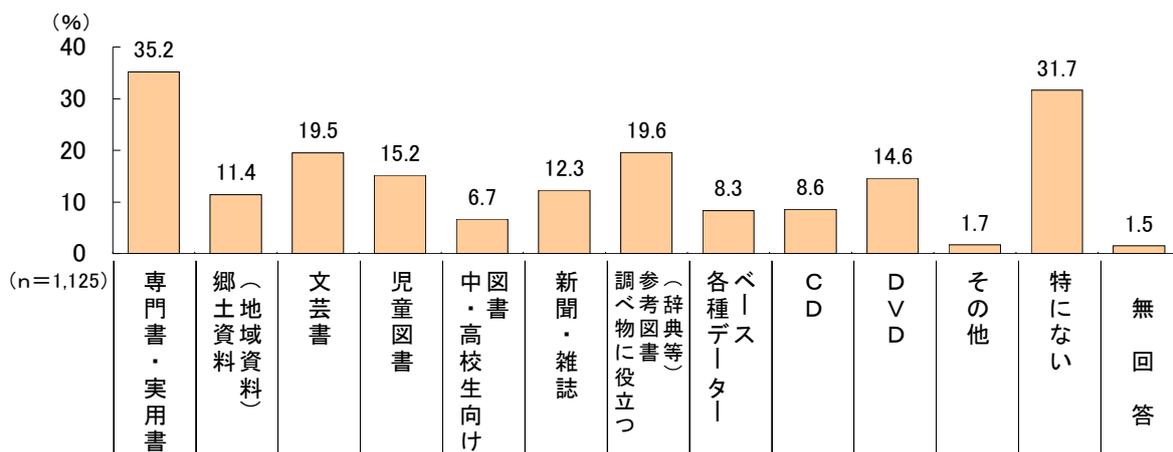
書籍の入手方法をたずねたところ、「書店（コンビニ・キヨスクなどを含む）で購入する」が77.0%と特に高く、次いで「図書館で借りる」（25.6%）、「古書店・リサイクルショップ・リサイクル市で購入する」（19.9%）などの順となっています。



### ■ 区立図書館で充実してほしい所蔵資料

「専門書・実用書」が3割半ば

区立図書館で充実してほしい所蔵資料をたずねたところ、「専門書・実用書」が35.2%と最も高く、次いで「調べ物に役立つ参考図書(辞典等)」（19.6%）、「文芸書」（19.5%）、「児童図書」（15.2%）などの順となっています。

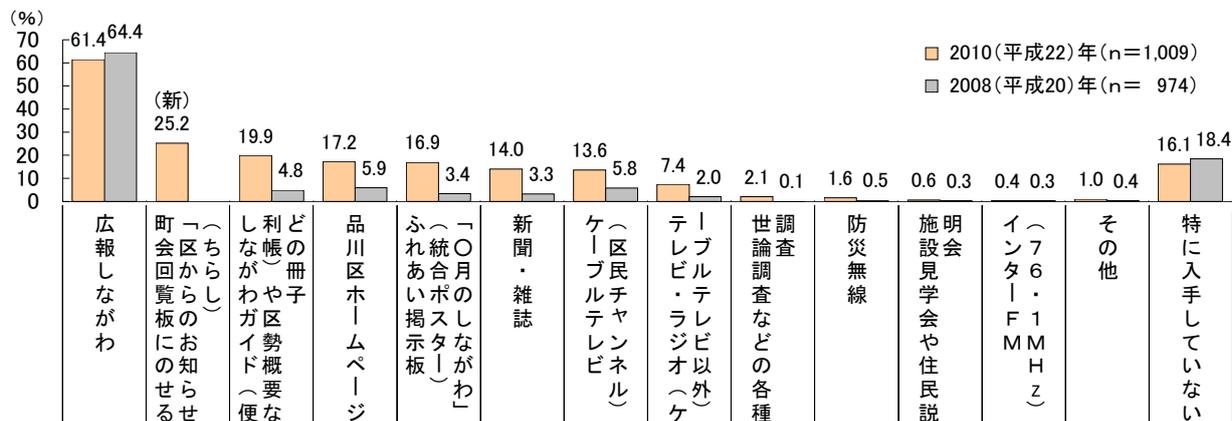


## 8 広報と情報化について

### ■ 区に関する情報の入手先

広報「区のおしらせ しながわ」が6割以上

区に関する情報を何から得ているかたずねたところ、「広報しながわ」が61.4%と特に高く、次いで「町会回覧板にのせる「区からのお知らせ」(ちらし)」(25.2%)などの順となっています。



### ■ 広報「区のおしらせ しながわ」の入手先

「新聞の折り込みから」が8割以上

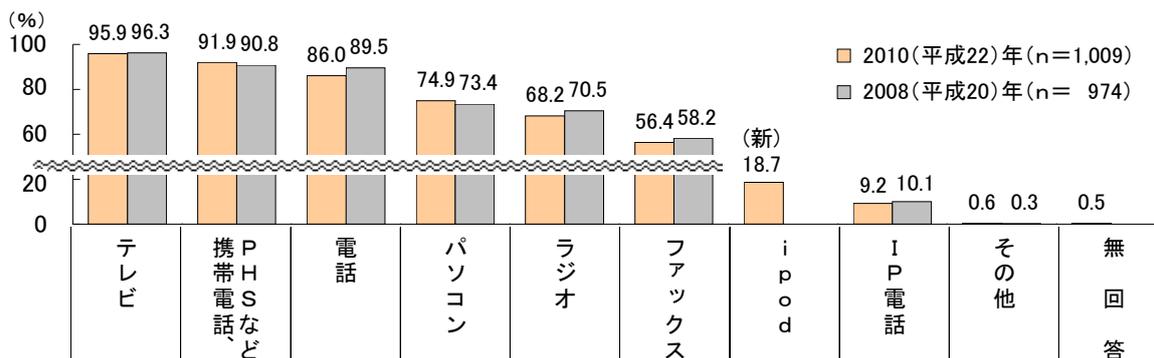
区に関する情報を「広報しながわ」で入手している方に入手先をたずねたところ、「新聞の折り込みから」が80.3%と特に高くなっています。



### ■ 家庭で保有している通信機器

「テレビ」「携帯電話、PHSなど」が9割以上

家庭で保有している通信機器は、「テレビ」(95.9%)が9割半ばと最も高く、次いで「携帯電話、PHSなど」(91.9%)、「電話」(86.0%)などの順となっています。



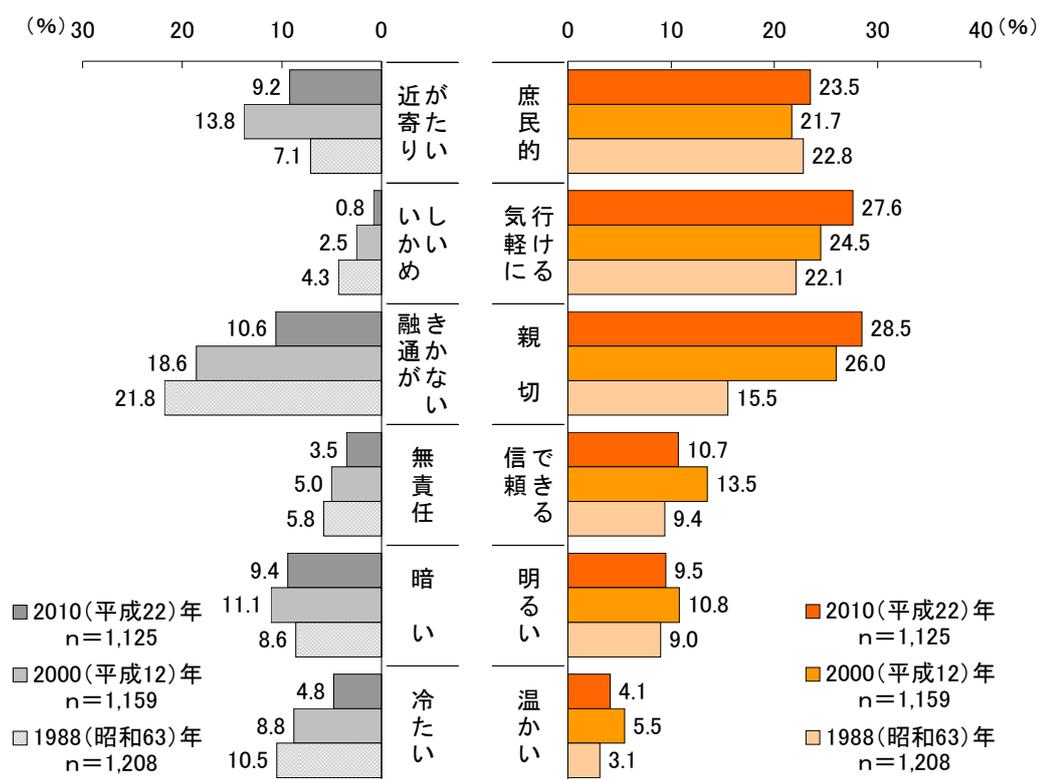
## 9 区役所のイメージについて

### ■ 品川区役所の印象

「親切」、「気軽にける」、「庶民的」が上位

品川区役所の印象は、「親切」が28.5%、「気軽にける」が27.6%と高く、次いで「庶民的」(23.5%)、「信頼できる」(10.7%)、「融通がきかない」(10.6%)などの順となっています。

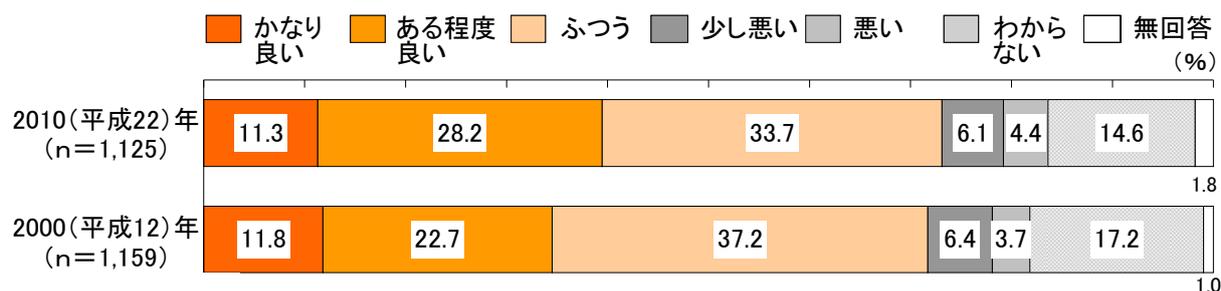
品川区役所への印象をもった理由をたずねたところ、「区の職員と接して」が56.7%と特に高く、次いで「何となく」(22.3%)、「区役所の建物や事務室の様子から」(21.7%)が続いています。



### ■ 品川区の窓口での対応の評価

『良い』が4割

品川区の窓口での対応の評価をたずねたところ、「かなり良い」(11.3%)と「ある程度良い」(28.2%)を合わせた『良い』が39.5%となっており、2000(平成12)年(34.5%)に比べて評価が高くなっています。

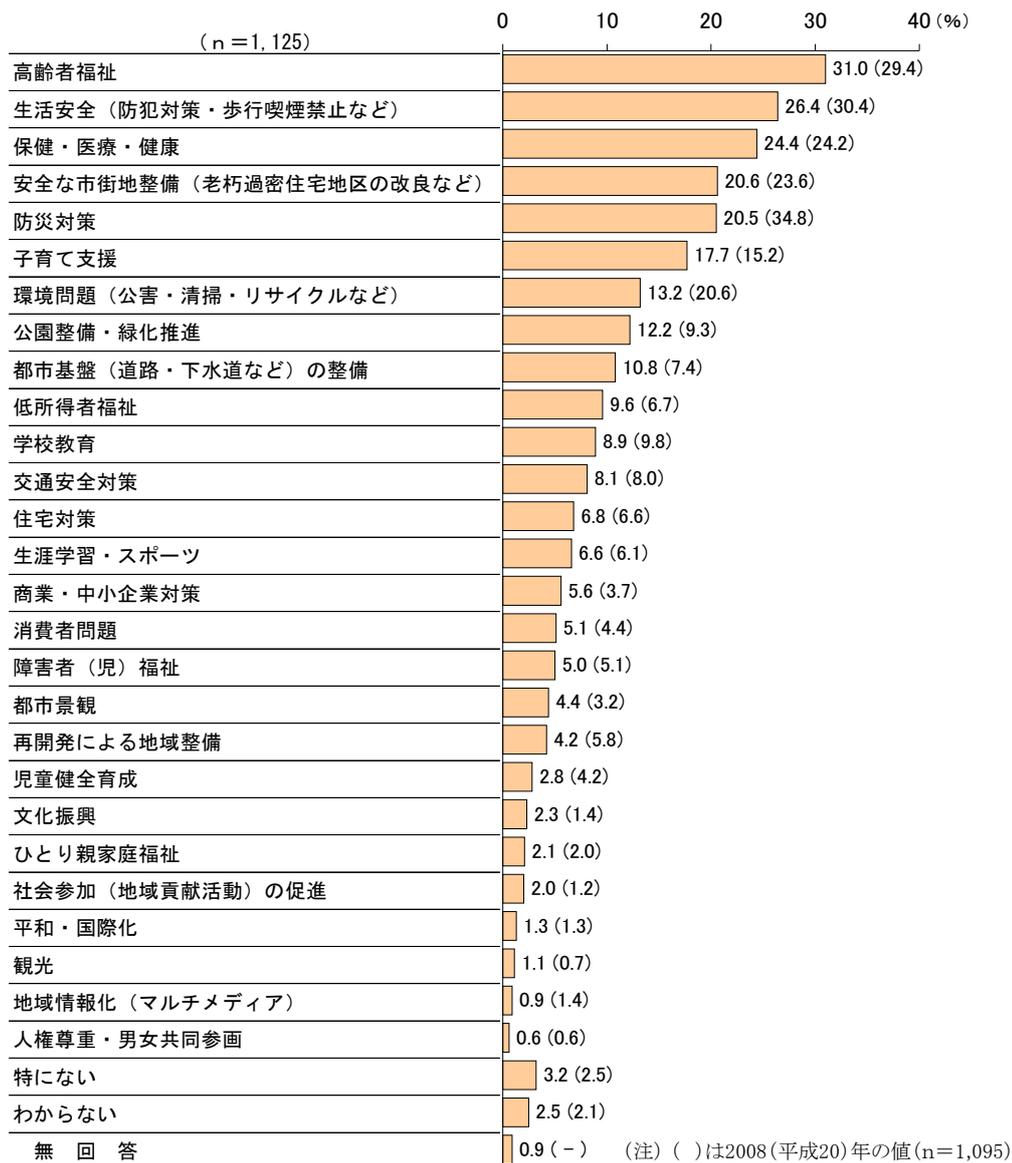


# 10 重点施策について

## ■ 今後特に力を入れてほしい施策

「高齢者福祉」、「生活安全（防犯対策、歩行喫煙禁止など）」、「保健・医療・健康」が上位3項目

区の施策の中で、今後特に力を入れてほしい施策は、「高齢者福祉」（31.0%）が最も多く、次いで「生活安全（防犯対策、歩行喫煙禁止など）」（26.4%）、「保健・医療・健康」（24.4%）などの順となっています。



### 第19回品川区世論調査 要約版

2010（平成22）年12月

発行 品川区企画部広報広聴課

品川区広町2-1-36

03(5742)6643(直通)

実施 株式会社エスピー研 調査事業部

東京都千代田区飯田橋3-11-20

03(3239)0071(代表)